

# 令和2年度全道女性農業担い手研修会【2月5日オンライン開催】

日時：令和3年2月5日（金）13：30～15：30  
 場所：札幌会場より、リモート配信  
 日程：13：30～ 担い手本部長挨拶  
 13：35～14：35 講演  
 14：35～15：30 質疑応答、交流



「大塚ファームの取り組み ～経営安定へのプロセス」  
 (有)大塚ファーム 取締役副社長・北海道指導農業者 大塚 早苗 氏

各種有機野菜の生産・販売、農業体験の企画・受入などに取り組んでいる。「スタッフを通年雇用したい」という思いから生まれた「有機ほし甘いも」は、日本初の有機 JAS 認定の道産ほし甘いもとなり、以来6次産業化を実践中で、経営を支えるもう一つの柱となっている。第43回日本農業賞個別経営の部大賞、農林水産大臣賞、平成26年農林水産祭の輝く女性特別賞などを受賞。



2月5日のオンライン(zoom)研修会には、全道から13名の女性経営者が参加。



北海道農業公社  
 加藤 担い手本部長から  
 ご挨拶

コロナ禍で、例年12月に開催している研修会は、女性農業者の希望もありオンラインで開催。

大塚様の経営・子育ての極意を皆様の経営に活かして頂きたい。



「長くこの会社で働いていても大丈夫だろうか」と、思わせない事が、働く意欲にもつながる。

女性が働きやすい環境作り(トイレ・ロッカー・休憩室)に力を入れている。1週間に1回、女性も参加し易い昼食を提供している。フレックスタイムで若い人材を活用する。雇用環境を整えると、欲しい人材も来るようになる。

作業指示書の整備、グループラインでスタッフの連絡を取り合う。作業が少ない時は、人数制限や働く人にもコストがかかる事を知ってもらう。

機械の使い方を、スマホで録画して伝えるなどの工夫で、経営者としての考え方を働く人にも伝えるようにしている。



6次化の良い点は、売上が全部家に入ってくる。売上は伸びるが、経常利益は下がり、本体の農業利益が下がるので、本当に儲かっている農家でなければ、してはならない。

- ①頂上を明確にする、年表を描く
- ②何のためにするのか、必要を確認をする
- ③余力でやる(資金がかかる)
- ④自分で売る覚悟があるか(農産物はJAに販売し、加工品だけを自分で売るのは難しい)
- ⑤その商品は本当に売れると思うか吟味する。



# 令和2年度全道女性農業担い手研修会【2月17日オンライン開催】

日時：令和3年2月17日（水）13：30～15：30  
 場所：札幌会場と農業大学校をつなぎ、リモート配信  
 日程：13：30～ 担い手支援部長挨拶  
 13：35～14：35 講演  
 14：35～15：30 質疑応答、事例にコメント



「スマート農業で高品質生産・省力化をめざそう！」  
 北海道立農業大学校 主任講師(研究・研修) 山岸 修一 氏

「スマート農業」～ロボット技術・ICTを活用して、労働軽減や高品質生産を実現する新たな農業～ について勉強しよう！ スマート農業で あなたの経営はどのように変わるのがか 考えてみよう！



北海道農業公社  
 中山 担い手支援部長から  
 ご挨拶

コロナ禍、今できる事は、収束後を見据えて充電し、力を蓄える事。

研修会で輪が広がり更に農業者として成長される事を期待しています。



2月17日もオンライン(zoom)で開催。  
 札幌と農大、そして参加者をつなぎました。

この日も  
 13名が  
 参加



## はじめに



世界の人口は増加し、食料需給が不安定。  
 自国の食料は自国で。  
 日本の人口減少で世界のマーケットに進出（輸出など）。

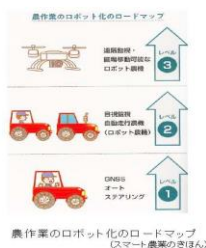
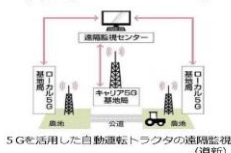
「スマート農業」を活用し、労働不足解消・低コスト安定生産を目指す

## スマート農業の推進に向けた取組（農水省）



## 今後、注目されるスマート農業

- ・ロボットトラクター
- ・5G
- ・除除草ドローン
- ・除草ロボット
- ・IT管理ツール など



## 最後に

- ・スマート農業は、これから必要なアイテムと思っています。
- ・農家数の減少、高齢化、大規模化が進み、今までの農業経営を行うことができなくなっています。
- ・それには、労働の省力化、機械の効率化、短時間で農業技術を習得することが必要です。
- ・誰もがチャレンジできる農業経営を目指し、低コストで生産性の高い農業技術を確立していきたいと考えています。
- ・是非、皆さんのチカラで、北海道農業を盛り上げていきましょう。

ご清聴ありがとうございました。